



多世代交流施設 まなびあむ 入居事業所を 一挙紹介

まちの活力を維持し、市民が生きがいと活力をもって豊かな生活を営むため、7月18日にオープンした多世代交流施設「まなびあむ」。旧市民病院跡地を改修して開設され、子どもからお年寄りまで多様な世代が集い、地域の賑わい創出や新たな絆を育む施設へと生まれ変わりました。

まなびあむの2・3階には公共施設である多世代交流施設「まなびあむ」や新舞鶴・三笠地域包括支援センターを整備。1・4階は民間活力を導入して「市民の健康増進と、多様な交流・賑わいの拠点となるよう整備を行いました。」
今回、まなびあむで市と協働して賑わいを創出する入居事業所を紹介します。
《まなびあむ・企画政策課》

1階

カフェ「Bistro &」

東舞鶴の「羅針盤」、西舞鶴の「アメイロピストロアルル」や「さかい」など、幅広い年代の人が楽しめる飲食店を展開する株式会社ツクヨミラシ。まなびあむ1階に市内4店舗目となるカフェ「Bistro &」をオープン。

高齢者にもわかりやすいメニュー表記や利用しやすい価格設定は多世代交流施設だからこそ。スイーツはもちろんモーニングからディナーまで、時間帯によってさまざまな食事を楽しめます。

JA京都にのくに彩菜館東舞鶴店 JA京都にのくに舞鶴東支店

市の目指す「多世代がつながる場づくり・地域づくり」への貢献を目指し、JA京都にのくに彩菜館東舞鶴店と舞鶴東支店がまなびあむ内に移転オープン。

彩菜館東舞鶴店には農家の皆さんやJA京都にのくにの思いの詰まった、安全・安心で自慢の地元農作物が並んでいます。舞鶴東支店では貯金や共済(保険)など私たちが安心して生活できるためのサービスを提供していきます。

2階

新舞鶴・三笠地域包括支援センター

高齢者やその家族からの介護などに関する相談に応じるとともに、関係機関との連絡調整や、保健・福祉・医療・行政サービスの利用手続きの紹介・援助を行っています。

また、要支援者のケアプランの作成や、舞鶴市からの委託事業として要介護認定調査なども行い、地域で暮らす高齢者の皆さんが、心身ともに健康で安心して生活が送れるよう支援しています。

4階

簡易宿泊機能付若者等交流拠点施設「GATEWAY MAIZURU」

訪れる人々を温かく迎え入れ、心豊かな時間を過ごせる場所でありたいという思いから「入口」を意味する「GATEWAY MAIZURU」をブランドネームに起用。

2人部屋から10人部屋のドミトリースタイルを中心に貸し切りなど幅広いプランを用意し、共有スペースにはキッチンも完備。地元の人や海外の人、学生企業、団体などさまざまな目的を持った人たちが集まる多世代型ゲストハウスです。

株式会社ツクヨミラシ 森野 和宏 さん
多世代交流施設ということで、幅広い年代の方にご来店いただいております。2・3階での教室終わりや4階「GATEWAY MAIZURU」に宿泊のお客様にもよくご利用いただいております。店内でケーキ販売もしていますので、これまで西舞鶴へ足を運んでもらっていた方には大変喜んでいただいております。
一度ご来店いただいたお客様が別の方を連れて再来店してくれたり、地元農家さんの野菜を1階「彩菜館」で仕入れて調理したりと、いろいろなつながりができてうれしく感じています。これからも施設全体が賑わうようお客様に満足していただける料理・サービスを提供していきたいと思っています。



JA京都にのくに 営農経済部 販売促進課 課長 高見 典俊 さん(右)
JA京都にのくに 舞鶴東支店 支店長 山口 信行 さん(左)
彩菜館の運営方針の一つに、生産者と消費者の交流の場・地域の賑わいの場を作ることがあります。また、支店はその賑わいを創出するための生活の基盤を整える役割を持っています。今回の移転で互いの店舗が近くなりました。今まで以上にお互い連携しながら、いろいろな角度から生産者・消費者も含めて、市と一緒に地域の賑わいに貢献していきたいと思っています。
地元の農産物をそろえているので、子ども達への地域学習や2階の料理室を利用した料理教室など、施設内でも連携していきたいと思っています。



新舞鶴・三笠地域包括支援センター 管理者 森下 重明 さん
事務所を移転したことで、去年と比べて来所相談が2倍以上に増えました。高齢者やその家族からだけでなく、民生委員の方の来所相談も増えました。施設内にJA京都にのくに舞鶴東支店やまなびあむなどがあるので、皆さん足を運ばれる機会が多くなったのだと思います。別の目的で施設に来られた方が、見学も兼ねて相談に来られ、それが介護サービス利用につながることもあります。実際に相談に来られた方からは「Bistro &でランチをしてきた」「相談が終わったら彩菜館で買い物をする」などの話も聞きます。
複合施設の特徴も生かしながら、市の健康増進に貢献していきたいと思っています。



株式会社 MIYACO 中馬 諄 さん
自転車で行く日本一周をしている方や岐阜県在住のアフリカ人留学生など、さまざまな方が早速、宿泊されています。大学のゼミでの利用や企業のワーケーションの一環で宿泊したいとの問い合わせもあります。
共有スペースではお客様同士が料理を作って交流するなど、自然と交流も生まれています。宿泊される方は、1階のカフェ「Bistro &」を利用される方は多いですが、その他の利用はまだまだなところがあります。コロナが落ち着けば、施設内・外問わずに交流の場を作っていきたいと思っています。「多様な交流・賑わいの拠点」の一翼を担えるよう、自然体で、おもてなしをしていきます。



利用者の声



大島 央幹 さん

大阪から舞鶴市へ移住のため、仮住まいとして「GATEWAY MAIZURU」に宿泊しています。
住み心地はばっちりです。先日はアフリカの留学生と英語で交流しました。さまざまな人が宿泊しているのでいろんな人と交流できて楽しいです。
キッチンがあるので、自炊していますが、スタッフの方の分も料理を作ってあげたり、とてもフレンドリーで自由な空間です。ここを出ても、交流スペースなどは利用していきたいと思っています。
今はまなびあむ内の他の店舗はあまり利用できていませんが、複合施設として1階から4階までいろいろな機能を持ち合わせているので、今後は活用していきたいと思っています。